

2015 中間発表会活動報告書

ISFJ Inter-university Seminar for the Future of Japan

文責：中間慎也

【開催日時】

2015年9月27日（日）

【会場】

早稲田大学早稲田（本部）キャンパス 11号館

【参加者】

11大学 28研究会 390名

【企画概要】

ISFJは、「学生の政策提言を通じた、学生の望む日本社会の実現」という理念のもと、その最終的な目的は学生により提言された政策が実現されることを目的に活動しております。そのためには、提言された政策が現実社会の問題に対する解決策として実用的であること、また、政策が実現可能であることが重要となります。

中間発表会はその政策提言論文の進捗状況の発表を行う場として位置づけられており、論文の分野ごとに設置する分科会に実務家や大学教授の方々をゲストコメンテーターとしてお招きし、ご意見・ご講評をいただくことで論文の一層の充実を図ることを目的としております。

【具体的内容】

中間発表会では、類似した研究テーマで論文を執筆してきた研究班を16分科会の会場に分け、4～7の研究会でそれぞれ執筆途中の政策提言論文の中間報告を行いました。その研究会ごとの発表内容に対しゲストコメンテーターの方々にご意見・ご講評をいただきました。

【総評】

中間発表会では、中間カンファレンスを経てスキルを磨き方向性を定めた参加者が論文執筆の進捗状況を報告し、完成に向けた調整が行われます。今回の発表会では、論文テーマにより構成された分科会で各研究会の発表を行い、それに対する質疑応答と1~2名のコメンテーターの方からのご講評をいただきました。

参加者は限られた時間の発表を経験し、他の研究会を交えた活発な質疑応答が行われました。コメンテーターの方々には事前に中間論文を拝見していただいたこともあり、当日は細かい部分まで具体的かつ的確なアドバイスをいただくことができました。

参加者は、論文の構成や分析のアプローチの仕方など多岐にわたるアドバイスを受けることができ、今回の中間発表会が論文執筆における最終的な調整が行える機会になったのではないのでしょうか。

12月開催予定の政策フォーラムに向け、参加者のみならず運営スタッフ共々より一層精進して参りたいと存じます。